

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援Midori				公表日	令和7年 3月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10		2対1になるように配置されています。	曜日によって利用する子どもの人数に偏りがあり、個別対応が必要な子どもが多い曜日もあるため今後調整が必要	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10		特性や支援内容に応じて必要性が生じた場合には個室を使用する等対応をしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		毎日塩素系消毒液で壁、床、玩具等その日使用したものを消毒しています。 活動に合わせてパーテーションで区切るなどをして活動にあった配置しています。	個室や空間を区切れるような工夫が必要	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		個別相談室をクールダウンや集中したい活動の時に個別に使用しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10		朝のミーティングでその日来る子どもに合わせた目標設定をして子ども達が帰った後その振り返りをしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		アンケートを実施しています。保護者の意向等を確認し、都度業務の改善につなげています		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	職場の雰囲気良く、意見が言いやすい。業務のことについて、他の職員に意見を求めたり管理者に相談しやすい環境。	時間給や看護休暇が取得できると嬉しいです。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1		外部を評価を行っているかわからない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	研修委員会が研修を設定して児童発達管理責任者やST、OTが研修をしています。	外部研修にも参加したい	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10		標準化されたアセスメントツールを使用し、把握に努めています		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		担当職員が作成した原案を元に、職員間で話し合い、検討作成しています		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		計画に合わせた運動や机上活動などを設定しています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		5領域に分けて分析しています。	標準化された評価・検査が一つでも準備できたら良いと思う	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		一人一人の発達に応じ、ガイドラインのねらい及び支援内容を踏まえながら支援計画を作成しています		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		子どもの発達や特性を踏まえた上で活動内容を設定しています。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		運動内容や机上活動内容、感覚遊びの内容等色々な活動を考えています。あえて活動を固定化することもあります。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	10		個別で活動することもあれば集団で活動することもあります。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		前日、当日と朝礼時に活動表、担当表を作成しています	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10		子ども達が降園した後、振り返りや変化について、毎日職員間で共有しています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		支援に関して気づきや様子を細かく記載し、職員間で共有しています	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10		3か月に1度見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		管理者や担当職員が参加しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		必要に応じて関係機関との情報共有を図っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1	担当者会議などで情報共有をしています。	連携が十分だとは思えない。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	2	情報提供書を作成して情報共有をしています。	就学時の移行支援はまだ対象児がいらないため行っていません
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	4	必要に応じて助言を受ける機会を行う。	連携が十分だとは思えない
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	7		開所して6カ月のため機会がない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		引渡し時に様子や手立てをお話しています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	1	ペアレントトレーニングを定期的に開催しています。	家族の参加できる研修の開催はまだ行っていません
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に詳しく説明しています。不明な事があればその都度説明する機会を設けています。	管理者、施設長以外は携わっていないため、わからない	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		家族の意向を確認した上で児童発達支援計画書を作成しています。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		説明をしたのち同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		連絡ノートや引渡し時に話たり、希望があれば面談を行って支援をしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	5		ペアレント・メンターを招いて、保護者の意見交換の場を設けているが、きょうだい同士の交流については今後検討したい。
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		相談の申し入れがあったら面談ができるように調整しています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10		定期的にお便りを作成して配布しています。インスタグラムに日々の様子をアップロードして活用しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			不十分な所がある
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		絵カード等の視覚支援ツールを使用したり外国籍の方には翻訳ツールや通訳さんを交えて話をしています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	5		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	2	職員間で随時確認しています。	家族への周知はわからない
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1	様々な災害を想定して避難訓練を行っています。	BCPがあるかわからない
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	2	事前に確認しています。	予防接種の確認の有無は今後必要
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	2	食物アレルギーのある子どもの利用はありませんが、必要に応じて医師の指導書の下対応しています。	食物アレルギーがある子供がまだいない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			家族へ周知しているかわからない
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	2	事故につながりそうな出来事があれば記録して後日確認しています。	ヒヤリハットの共有が不十分。記録をまとめておき、職員間で共通理解を深めるようにします。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		虐待防止委員会を月に1回開催して全職員が参加しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	2		身体拘束は行っていませんが、事業所の方針を明確化させ周知します。	